

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 5年 1月 20日

事業所名 笑顔学園ステップペア

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・療育場では壁側に机、椅子を配置し、勉強やお絵描きなどができるようにしている ・広い空間があり、子どもたちが、自由に遊べる広さがある。パニックルームがある。	・扉の強化
	2	職員の配置数は適切である	○		・正職員が公休の時や、活動内容、利用児童の組み合わせを見てパートさんを入れて補う	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・エレベーターを使用したり、スロープを配置している ・車椅子でも通れるようにスロープやエレベーターがある	・トイレが狭く、手すりなどもないため改善する
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につな	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・月に一回研修を行っている ・強度行動障害の研修を積極的に参加してもらっている	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画	○		・会議を行うことで、スタッフと情報共有を行い、計画書を作成している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・固定化をする内容があり、曜日を覚えてもらったり、復習をかねて活動に取り組んでもらうように考えている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・児童の持っている特性等も考慮したうえで計画書の作成をしている ・計画を立てて行っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・児童が来る前に、最近様子がおかしいとか、少し乱暴的になっているなど、気になる点があれば職員で共有し配慮をしている ・毎日朝礼を行い、利用児童の確認、活動の確認、業務上の改善点などを打ち合わせている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有してい	○		・どう対応するとよかったか、これからどうするか話し合っている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につな	○		・しっかりと記録をとり、振り返られるようにしている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・モニタリングの前と後に職員間で会議を行っている		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			・トラブルを軽減するために本日の予定等を毎朝読み上げ確認を行っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○			
	23	就学前に利用している保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				・障害福祉サービス事業所等に行き継ぎ等を行った
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			・コロナの流行のため行っていない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○			・コロナの流行のため参加していない
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○				・出来なかったことができるようになったことや本日の様子を適時送迎時や電話で伝えている
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○			・コロナの流行のため開催していない
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				・事細かな、書類に記載している内容を事細かく説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				・事業所や家庭でお話をお伺いして共有し、対応している。学校とも情報共有しながら会議を行い、改善に努めている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			・コロナ流行のため行っていないが、モニタリングを通してお話しすることはある
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				・研修を行い、対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				
	35	個人情報に十分注意している	○				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				・活動の様子などを保護者の方にわかりやすく伝えている ・活動に必要なものを事前にプリントや連絡をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			・コロナのため行っていない

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○	・月に一回スタッフ研修を行い周知している	・保護者には周知していない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	・訓練を行い、もしもの時に備えて役割を決めている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	・職員同士の情報交換を常に図っている ・虐待研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○	・研修を行い、理解を深めて対応している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされる	○	・食物アレルギーの児童がいない	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	・常に、職員同士で情報交換することを心掛けている	